

令和7年度「世界エイズデー」



■趣旨

WHO（世界保健機関）は、1988年（昭和63年）に世界レベルでのエイズまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を図ることを目的として、12月1日を“World AIDS Day”（世界エイズデー）と定め、エイズに関する啓発活動等の実施を提唱しました。

1996年（平成8年）からは、WHOに代わって国連のエイズ対策の総合調整を行うこととなったUNAIDS（国連合同エイズ計画）がこの活動を継承しており、“World AIDS Day”を提唱しています。

本県でもその趣旨をふまえ、12月1日を中心に、保健所で実施するHIV検査体制を拡充して実施します。

■世界エイズデーに関連した取組

1. 検査機会を拡大するため、定例の検査日以外の検査日を設けて、島根県内の保健所（6箇所）でHIV検査（即日検査）を実施します。
 - ・ **検査は無料・匿名**です。
 - ・ 「即日検査」では一回の来所、一時間程度の待ち時間で結果がわかります。（ただし、即日検査で陰性（HIVに感染していない）と判断できない場合は、確認検査等を行いますので、結果をお知らせするためにもう一度来所していただきます。）
 - ・ 各保健所の検査実施日時については別紙の一覧をご覧ください。
 - ・ 検査を受けるには予約が必要です。事前にご予約ください。
2. ホームページやラジオ放送等を通じて広報を行います。

○別紙：検査実施予定一覧

○資料：島根県におけるHIV検査・相談実施状況、患者感染者報告数 等

○県のホームページ：

<https://www.pref.shimane.lg.jp/medical/yakuji/kansensyo/aids/aidsday/>



U=U「Undetectable（検出限界値未満）＝Untransmittable（HIV感染しない）」

世界エイズデーのキャンペーンテーマで、治療を継続することにより、血中のウイルス量を検出限界未満に抑え、その後も少なくとも6ヵ月間維持されている状態のHIV感染者から、性的接触を通じてHIVが感染することはないことを指します。